

2025 年 6 月 16 日

報道関係各位

「ロシュ ゆめいろシューズプロジェクト」 いちばん星古賀（福岡県古賀市）にてワークショップを開催

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長 兼 CEO：小笠原 信、以下ロシュ）は、このほど、福岡県古賀市にある福岡療育支援センター「いちばん星古賀」にて「ロシュ ゆめいろシューズプロジェクト」のワークショップを開催いたします。NPO 法人 福岡子どもホスピスプロジェクト（福岡県福岡市／理事長 濱田 裕子、以下福岡子どもホスピス）のご協力のもと、療養中の子どもたちとそのご家族 50 名を対象に実施いたします。

「ロシュ ゆめいろシューズプロジェクト」は、難病治療中の子どもたちに自由な発想でぬり絵を楽しんでもらい、そのデザインをもとに世界にひとつだけのシューズに仕上げ、プレゼントをするロシュのチャリティー活動のひとつです。シューズの製作費はロシュ社員の寄付によって支えられています。2020 年に開始以来、これまで 339 足のシューズを国内のこどもホスピスや病院で治療を頑張る子どもたちにお届けしています。

今年は福岡療育支援センター「いちばん星古賀」にてワークショップを開催し、療養中の子どもやそのきょうだい、ご家族にご参加いただく予定です。いちばん星古賀のお力添えのもと、子どもたちには創作活動を自由に楽しんでもらい、安らぎや希望に満ちた時間を共有できればと考えております。

ロシュはこれからも診断薬事業および社会貢献活動を通じて、人々がより健やかに過ごせる未来を目指し、医療と地域社会に貢献できるよう活動を続けてまいります。



【NPO 法人 福岡子どもホスピスプロジェクト】

福岡子どもホスピスプロジェクトは 2014 年に NPO 法人化し、重い病気や障がいのあるお子さんやその家族を対象にしたイベントや活動、子どもホスピスや小児緩和ケアの教育啓発活動、グリーフの会や相談支援を行い、2021 年から 3 年間、内閣府の休眠預金活用事業の実行団体に採択され、“病気や障がいがあってもいのち輝く社会”を目指して、福岡に子どもホスピスを創ることを目指して活動してきました。2024 年 12 月には、土日限定の仮施設を福岡療育支援センターいちばん星の協力のもと開設し、いのちが脅かされた状態のお子さんとその家族の夢を叶える活動やイベント、グリーフの会や教育啓発活動を継続しつつ、福岡市内に常設の本施設を作るために活動しています。

【福岡療育支援センターいちばん星古賀】

いちばん星は 2007 年に開設をし、障がい種別を問わず、一人ひとりのこどもとそこそご家族に寄り添い、地域の中で自分らしく生きていくための支援を行っています。100 人のこどもがいれば 100 人の支援があり、またご家族の困り感やニーズも様々です。私たちは、こども達の「楽しい！」「できた！」「またやりたい！」という気持ちを引き出し、スモールステップでの評価を行いながら、ご家族と成長を分かち合い、時に相談を受けながら一緒に考えていける関係性を大切にしています。私たちの理念は福岡子どもホスピスプロジェクトの掲げる理念でもある「地域社会の中でこども達が子ども達らしく生きていくことやそこそご家族を支える居場所として、『子どもホスピス』を創る」という考えに共感し、この度仮施設として提供することとなりました。まだまだ課題はありますが、1 歩 1 歩手を取り合って前進していけるよう精進してまいります。

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社について

ロシュは、1896 年にスイスのバーゼルで創業した、150 以上の国や地域に拠点を持つ世界最大級のヘルスケアカンパニーです。医薬品と診断薬を併せ持ち、医療従事者や患者さんの最適な治療選択や意思決定をサポートしています。ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社は、ロシュ診断薬事業部門の日本法人です。検査を通じて自分自身の今を知ることで、人生において自分らしい決断ができる、という信念のもと、革新的な診断ソリューションの提供を通して、予防・診断・治療・予後のすべてのステージで人々に寄り添い続けています。2025 年 6 月現在で全国 8 都市にオフィスを有し、体外診断用医薬品・医療機器事業、研究用試薬・機器事業などを幅広い疾患領域で展開しています。詳細はホームページ <http://www.roche-diagnostics.jp> をご覧ください。